

# 議 会 運 営 委 員 会

日時 令和7年4月30日（水）

午前10時00分～

場所 第1・2委員会室

委員名 ☐委員長 齋藤俊夫 ☐副議長 大和晴美 ☐委員 遠藤龍之 ☐委員 丸子直樹  
☐委員 渡邊千恵美 (☐議長 菊地康彦 ☐副議長 伊藤貞悦)

欠席者なし

## 次 第

### 1 開会宣告 [委員長]

### 2 報告並びに連絡

5月20日（火）午前10時00分 全員協議会（議会）

23日（金）午前10時00分 全員協議会（執行部）

30日（金）午前10時00分 全員協議会（議案配布）

6月 2日（月）正午 一般質問締め切り

午後 2時00分 議会運営委員会

※ 今回から SideBooks の 03\_議会運営委員会 フォルダに 開催通知 及び 次第 を格納します。毎日の確認をお願いいたします。

### 3 協議事項

(1) 「議員のなり手不足」について

【委員長】諮問されているが今後とも議運で進めていいのか。

【議長】組織も含めて議運で協議されたい。

【委員長】議運で進めると正副議長が毎回出るようになるので、先進事例を見ると特別委員会設置だが、どうでしょうか。

【渡邊委員】岩沼市議会では議運で検討している。

【委員長】岩沼市議会では正副議長も含めてなのか。

【渡邊委員】そこまで確認していない。

【丸子委員】全協で諮って議運に任されたが、組織も含めてこの中での協議でよいのではないか。

【委員長】二段構えということ。

【遠藤委員】全体で決めるべきだ。今日の目的はどこまでなのか。勉強であれば議運としてあるべき姿を見定めるのはいい。それを全協に提起することではいい。なり手不足となれば、報酬、定数といったところもでてくるので全体の議論の中で方向性を定めることが

ベターである。議運として結果を出すのは、相当難しいと考えている。

【副委員長】決めるのは全体。特別委員会もあるが、議運主体で進めていってもいいのでは。

【副議長】議運で審議をして、全協にがいいと思う。正副議長のこのテーマでの積極的な発言はできないが、オブザーバーとしての出席はやぶさかではない。

【遠藤委員】議運でやって全協に諮って議運に戻してとなるとどれだけの時間がかかるか。

【議長】改選期までを見込んでいる。議運と全協で行った後は、住民参加委員会で検討することを望む。先進地を確認し、本町に合うような手法を考えてもらいたい。その筋道を議運で考えてもらって、全協に諮ってもらいたい。その結果、次期改選期に新たな立候補者や若手の登場を望みたい。

【遠藤委員】議会全体の方針を定めてから、町民委員会にもって行ってとなれば、今年度中に議運と全協の行ったり来たりは大変なのではないか。議会として先進地を見てくるなど、議員一人一人が自ら考えることができるように、まずは学ぶ必要があるのではないか。全体で進めていったほうが時間を有効に使えるのではないか。

【委員長】議運として方向性を確認するのが大勢だと確認します。進捗状況を共有しながら今後進めていきたいと考える。

なり手不足問題の先進地事例や全国町村議長会の資料もあるので、相手先も6月議会以降に受け入れが可能という自治体もあることから、本日準備した資料の勉強を進めていきたい。

【局長】①資料は全国町村議会議長会の分析及び提言をまとめたものなので、原本はタブレットを活用して確認して。②は先進地のホームページから確認したもの、公開されている議事録などからも拾っていますが、あくまで公開情報のため体裁がすべて整ったものではありません。

①～②資料に基づき説明。

【議長】補足。大和町と加美町の違い。大和町は各種団体代表を集めて河村先生から指導を受けた。加美町は河村先生の研修会に参加したものからメンバーを選んだ。

【委員長】加美町の確認で研修会にそれなりの参加があったということか。

【議長】議員側からの声掛けもあった。

【遠藤委員】報酬と生活給の違いを明確にしているか。

【委員長】次回の会議に向けて事務局で資料整理願いたい。

【丸子委員】もしあげるとすれば生活給の水準をどうみるかが必要。

【委員長】進めていく中でそういったことも必要になると考える。

【局長】SideBooks上で資料を掲示し、アンダーラインや図示することで提供したい。

【委員長】あとあと説明も含めた資料の整理もあるので、再検討されたい。

【渡邊委員】政務調査費も含めた検討か。

【委員長】報酬の見直しに加え、それも検討するという事になれば。

(休憩 11 : 14 再開 11 : 20)

(2) その他

・議会傍聴アンケート検討

【渡邊委員】建設的な内容だけではなく、個人名なども出ているため、記載要領を考えたかどうか。

【丸子委員】アンケートなので好きなことを書けばいいので様式もいい。実際に来ていただける方は、年齢的にも偏っている。若い方はインターネットで見ていると思う。ネットにもアンケート必要ではないか。

【委員長】誹謗中傷が含まれていてもいいということか。

【丸子委員】判断はできないと思う。アンケートは多数にとって傾向を見ればいいだけだと考える。

【遠藤委員】一般の方がどう感じるのかをアンケートとっている。反論はそれぞれの議会活動で行えばいい。誹謗中傷だと判断することは難しい。そういう見方もあるというように受け止めるべき。

【副議長】誹謗中傷は避けてくださいとお願いを加えればいい。

【遠藤委員】なり手不足を学んでいるときに、傍聴に来ている、議会を知ろうとしている人に対して制限を課す必要があるのか。議員生活に支障をきたすような内容には、積極的に受け止めて、別に対応すればいい。そういうふうには書かれないようにすればいい。

【委員長】良識、常識ある態度が普通であり、何でも許されるのであれば、議員もそうになってしまう。一定の節度ある対応、何でもありではなく。傍聴者が少ない中で特定されることもある。議会としての評判を落とすことにならないか。

【遠藤委員】具体的な事例には具体的な対応をしてきた。今日の資料に対しての回答しか話していない。それ以上なら、議論する内容ではない。規制をする必要はない。

【丸子委員】事務局に確認です。ほかに出るものか。

【局長】議運と全協のみです。以前においても議会アンケートは存在していたが、内容までは確認していない。

【丸子委員】無記名のアンケートなのでこのままでいい。

【議長】それぞれの意見なので、気にしないで。いわれないようにしましょう。

【局長】書いてもらったものを検証しているので、取り扱いをどうするかの問題。

【遠藤委員】議会改革のためにどうする材料の一角で書いてもらっている。書かれていることにはその対応があっている。

【議長】主張があれば議運なり全協で発言されたい。それ以上があれば議長なり事務局を使ってもらえばいい。

【委員長】様式に変更なしということか。

【丸子委員】傍聴アンケートではあるが、情報を得る手段なので、枠を設けて逆に広げてもいい。

【遠藤委員】もっと広げていっていい。

【委員長】近隣の様式を参考に次回また検討されたい。

4 その他

【局長】本日配布の封筒。林野火災防ぎょ訓練の案内。当日作業着、ヘルメット持参。来月全協でも伝える。5/1 からクールビズ。

5 閉会宣告 [委員長] 12:00